

北大の「遺産」

老大樹守って

臨床検査技師 樋口みな子

(北海道江別市 51歳)

札幌に通勤する私は時々、緑豊かな北海道大学のキャンパスを散策します。ほっと安らぎを覚えるひとときです。

その北大のポプラやハルニレなどの大樹十数本が、樹木医から「危険木」と判断されたとして伐採されようとしており、市民から反対の声があがっています。

ハルニレ(英語ではエルム)の多い北大キャンパスは「エルムの学園」とも呼ばれます。今回、伐採対象になっている四本のハルニレは樹齢三百年と推定され、校舎が造られたとき、あのクラーク博士らの努力で残されたものだそうです。まさに北大の歴史を伝える文化的遺産です。

危険木と判断されたのは内部に空洞が広がっていたためですが、木そのものは元気で、す。「安全」は大切ですが、自然との共生を考える中で、切ることが唯一の方策なのでしうか。車の乗り入れを制限し、周りの舗装を除くだけでも効果がありそうです。

「エコキャンパス」構想を掲げる北大当局ならではの英知と英断を期待しています。

電子メールはtokyo-k

FAXは03・3248・5588

東京・京橋郵便局私書箱300号、朝日新聞「声」

◆投稿先は〒104・8661